

# えりもしやくなげ



発行者 教育長 川上松美 (代)01466-2-2525

<http://www.town.erimo.lg.jp/section/kyouiku/sg6h940000000pqh.html>

kyouiku/sg6h940000000pqh.html

## えりも中学校体育大会で 生徒一人一人が全力投球



○学校の学習指導要領には、特別活動の「指導計画の作成と内容の取扱い」で『入学式や卒業式などにおいては、その意義を踏まえ、国旗を掲揚するとともに、国歌を斉唱するよう指導するものとする。』となっています。

○そのため、えりも町では学校行事の体育的行事（運動会や体育大会）や儀式的行事（卒業証書授与式、入学式）に国旗を掲揚することにしています。

○5月28日（土）には、一日順延された、え

りも中学校の体育大会が開かれ、写真のように国旗、町旗、校旗が生徒の頑張りを見守るようになびいていました。また、開会式の運営や生徒の態度も立派に進められました。



100m走、最終組のスタートです。えりもNO1が決まりました。

○競技は、午前中の記録会種目100m走を皮切りに、800m、1500m、200m走、走り幅跳び、走り高跳び、選抜リレー、午後からは団体種目と学年対抗リレーが行われました。生徒はどの種目にも挑戦し「規律ある集団行動や責任感、連帯感を深め、体力の向上」に全力投球していました。一人一人ハツラツとした姿に感動したところです。

**保護者の地域学校への参画  
PTAの皆さんが記録会種目の競技  
運営に当たりました。学校に保護者が  
主体的にかかわる地域学校の取組の  
一つとして位置付けてきています**

○これまでも、運動会や体育大会でPTAの皆さんが運営に協力していましたが、今日で

は、「運営が困るから協力する」という考え方ではなく、「先生方と共に運営する」という、地域学校としての考えに立って、積極的なかわりをもちながら、学校参画を行い支援しています。

○当町では、『えりも型地域学校』を推進しています。今後は、保護者以外の地域の方々の参画を目指しています。



競技開始前に、ジャベリックボールの運営について話し合う競技役員（保護者）の皆さんです。下の写真は、走り幅跳びの砂場を整備する皆さんです。





えりも中1年社会科の授業風景です。一人一人黒板に集中しています。生徒の興味を引く授業の工夫が見られます



○中学生は、心身ともに大きく成長する時期です。授業では、興味関心を引く授業づくりが必要ですが、この場面は社会科の授業で先

生は動画を通して授業を進めていました。本時間の課題は「日本と世界の時差は、どのように計算するのだろうか」でした。生徒は東京の街角の様子を動画を見ながら、課題の経度などについて考えていました。

庶野合同運動会、最後のプログラム「庶野のソーラン」で全校児童33名がハツラツと踊りを披露しました。力いっぱい踊りに地域の方々から大きな拍手がありました



○6月5日（日）9時から開会式・ラジオ体操で始まりました。保育所の園児も4種目に参加するなど、小学校と保育所が合同で運動会を行いました。

○開・閉会式も内容を精選しながら、礼法や整列など立派に行うことができました。

○小学生は応援合戦で気合いを入れ、その後短距離走や団体競技を競い合いました。

○紅白リレーでは、赤組、白組が途中で先頭

を入れ替わるなど白熱しましたが、わずかの差で赤組が優勝しました。

立派だったえりも小学校大運動会開会式の入場や式での聞く態度が立派でした。学習の姿勢が教室のときと結びついていました

○6月11日（土）9時から開始されました。○当日は天候が不安定でした。開始までは曇り空で、100m走が始まる頃には一時的に雨が降りましたが、中断しながらも団体競技以外を行うことができました。

○写真は、開会式の様子です。児童は左側と右側が体を正面に向けて演台に直面していません。この聞く態度は、教室で人の話を聞くときと同様の約束で行われていました。



○壇上でのあいさつでは、開会宣言の教頭先生や大会長の校長先生の姿を見て、児童会長も同じように礼法やあいさつも立派で、節目とけじめをもち、大会を盛り上げました。